

グリーン花材(ユーカリ)産地の育成

対象者 ユーカリ栽培農家

【普及活動のねらい】

花き業界ではグリーン花材の一つであるユーカリの需要が大きく伸びており、花き卸売市場や大手フローリスト（実需者）から大消費地に近い本県での生産の提案を受けていました。

当普及指導センターは、水利が悪い（水が入らない）ほ場や不整形で作業性が低いほ場等、作付け条件の不利な農地を活用できる品目としてユーカリに着目し、令和元年度から各種会合や研修会を通じて作付けを推進し産地化を図ってきました。令和3年度は11経営体（令和2年開始：8経営体、令和3年開始：3経営体）で栽培され、ユーカリ栽培定着に向けての技術支援を行いました。

【普及活動の内容】

作付け2年目の栽培者に対しては、現地巡回を行い病害虫の発生状況を把握するとともに、注意が必要な病害虫や薬剤ローテーション例を示し、定期防除の実施を促しました。

作付け初年目の新規栽培者に対しては、定植準備研修会を開催し、排水対策の実施や植え付け間隔等について説明しました。定植後は現地巡回し、摘心、倒伏防止のための支柱立て等について助言し、必要な作業の理解と習得を図りました。

さらに、全員を対象に出荷前研修会を開催し、収穫期の判断方法および出荷調製の手順について説明したのち、生産者ごとに現地で研修会の内容について実演を交えながら指導を行いました。

また、昨年度に引き続き新規生産者の掘り起こしに向けた説明会を開催しました。開催にあたっては関係機関の広報誌等で開催を案内し、広く周知を図りました。



現地での収穫指導



結束されたユーカリと
出荷箱

【普及活動の成果】

以上の取組の結果、今年度、管内では約1.8haで栽培が行われました。令和2年からの栽培者は本格出荷が始まり、12月末時点で約23,000本が関西花き卸売市場に向けて出荷されました。作業効率が悪く耕作放棄地となりかねない条件不利地でも収益を生む土地になることが認識され、栽培者の生産意欲が高まったと感じています。

また、新規生産者確保に向けた説明会では6名の参加者のうち3名が次年度からユーカリ栽培を希望され、栽培開始に向けて個別に対応しているところです。

引き続き、関係機関と連携し、甲賀地域でのユーカリをはじめとするグリーン花材の定着と産地化に向けた支援を行っていきます。